



自由
歩行

ゆっくりウォーク 深谷通信所跡地を訪ねる

2022年
10月20日
(木)

天気：快晴 参加者：221名(訂正) 距離：10km 担当：石田 敏雄
コース：泉中央公園→和泉町第三公園前→和泉町作右衛門公園→施設ひめしゃら
→ 施設グリーンヒル泉・横浜→泉が丘中学校→陣屋自治会館 →(株)植勘 →深谷通信所跡地
→なかよしこども園→下和泉公園→中丸橋→下和泉ふれあい公園→赤坂橋→湘南台公園



2022年10月20日 池内淑皓

我が住む町、泉区へようこそ！

今日のウォークは泉区の南部に位置するいずみ中央南、和泉町、和泉が丘、下和泉、下飯田町と五つの町を通り抜ける10kmのウォークです。



集合地は「泉中央公園」となります。いずみ中央駅から長福寺を通り抜けて5分、高台にある公園です。1986年戸塚区から分区して出来た泉区、区の誕生を記念して開園しました。この場所は中世「泉小次郎親衛の城跡(砦)」と考察されていて、空堀と馬洗いの池が現存している。泉小次郎はこの池で馬を洗った。

館はこの先陣屋(和泉が丘3丁目)にある



池の中には1347年（貞和3年）の板碑が出土して、麓の長福寺境内に文化財として展示されているから是非見て欲しい。長福寺は泉小次郎親衛の創建と伝える。



受付を済ませたら東に向かって歩いて行く、公社和泉町団地を抜けて和泉町第三公園前を通り



緑豊かな緑地が残る大地に向かうと、「作右衛門公園」に出る。珍しい名前の公園だ。この土地の大地主、江戸時代には名主を務めた現安西實氏の屋敷地で、祖父の作右衛門さんが、昭和の時代に横浜市に土地を提供して公園とした、その謂れが公園の隅に碑として残されている。今、私たちが歩いている道は作右衛門さんの屋敷内の道なのだ。



道は一旦県道まで下って、また20m程坂を上って、標高39mの高台にある「ヒルス ミキ ひめしゃら」脇の狭い畑道を通り抜ける、ここも農家の私有地となっている。いまは家庭菜園となっているが、緑豊かな畑が展開して丹沢山塊、富士山も、大磯の高麗山も見える。



二つ並んだ老人ホームの間を通り抜けると、また農家の私有地となっている畑の中の道を通り抜ける、農耕馬に使用されたのだろう、馬頭観世音供養塔が畑の隅に二基並んでいる。こんもりとした森をぬけると



和泉が丘の住宅地を通る、この住宅地の辺りは泉小次郎の陣屋の跡と伝える。道の角に「陣屋自治会館」が当時を物語ってくれる、土地の叔母さん方は、昔からこの辺りを陣屋と言っている。

一旦バス通りに出て横浜和泉郵便局前を横切り東に向かうと、



広々とした緑地に出た。入口には米軍の施設から日本に返還された国有地と表示がある。昭和16年旧日本海軍の通信所として開設されたが、終戦の昭和20年米海軍に接収された。今なお、当時の残骸が残されている事が残念でならない。フェンスの向こうは未だ米軍の占領下にある。



2014年(平成24年)になってやっと日本に返還された。直径1km、77畝と言う広大な敷地の使い方として横浜市は「緑で繋がる魅力的な円形空間」をテーマにスポーツ施設を検討している。

草原の中を自由に歩いて下さい。

南北に貫く道は「かまくらみち(巽みち)」で緑地の中央を貫くように、一直線に北に向かって伸びている。敷地の中央にあるバス停が今日のチェックポイントで、快適なトイレがあるから小休止しよう。



ここからは西に向かって歩く、正面に大山と丹沢の山脈、富士山が美しい。10月に入って最高の天気であろうか、最近に無い、素敵な例会である事は間違いないだろう。



下和泉の住宅地に入って、下和泉公園を通り抜けて道祖神の前を通る、ここは鎌倉みちが藤沢から八王子に向けて走っている。下和泉ふれあい公園の前を通り抜けると和泉川に出る。



環状4号線を赤坂橋信号で渡るとすぐ、中和田南小学校の脇を通り抜けて、下飯田町の富士塚団地を通る。



この台地は鎌倉時代の武将「飯田五郎家義の館跡」で、宅地造成時には空堀、五輪塔、納骨容器が出土している。今団地の下の公園の片隅に富士塚城跡の碑が立っている。飯田五郎家義は平家側の総大将大庭景親の部下であったが、石橋山の合戦で梶原景時と共に源頼朝を助け、奇跡の安房脱出を成功させた。城跡の前が鎌倉街道上道である。



鎌倉道を横切って境川に出る。白鷺橋を渡ると相模の国高座郡に入る、今までは相模の国鎌倉郡を歩いて来た。境川はこの郡境を意味する。

ゴールの湘南台公園は高架線鉄道に沿ってゆけばすぐだ。

完